

西岐波団地余剰地活用事業に関するサウンディング型市場調査 実施結果について

平成31年1月31日

1. サウンディング実施の経緯

宇部市では、西岐波団地余剰地について地域課題の解決につながる活用方法を検討しています。今回の調査は、民間事業者の皆さまとの対話を通じて、市場性の有無や活用に向けての事業アイデア、取り組むべき課題の把握を目的として実施しました。

2. サウンディングの実施スケジュール

平成30年10月29日	実施方針の公表
平成30年11月1日～11月30日	サウンディングの実施
平成31年1月頃	実施結果の公表

3. サウンディングの参加者

建設業：1者

4. サウンディング結果の概要

対話の対象項目	対話概要
事業アイデア	【余剰地のポテンシャルに関する意見】 ・公共交通機関の充実が必須であり、バス路線が延長されれば住宅エリアとして活用検討が可能 ・商圏の規模や用途地域の関係上、商業施設単体での運営は厳しい ・全体コンセプトを定め周辺地域を含めたブランディングが必要となる 【事業内容の提案に関する意見】 ・生活利便施設を核とし、居住エリアを含めた複合的な開発 ・多様な住環境による多世代が共存可能なまちづくり ・核となる施設への小規模店舗等の併設及び周辺地域への利便性確保
宇部市に期待する役割	【インフラの整備に関する意見】 ・市営バスの路線延長およびバスロータリー移設を検討してほしい ・アクセス性向上に向けた道路整備を検討してほしい 【事業の進め方について】 ・インフラ整備の計画を含む基本構想策定の段階から民間事業者と連携するべき
本事業に関する不明点	・特になし
その他	・事業者選定方式として「優先交渉権者&パートナー選定方式」の提案

5. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回の調査では、西岐波団地余剰地の市場性や活用に向けた事業アイデア、インフラ整備等のニーズの確認ができました。また、本事業を進めていく上での事業者選定方式に関する提案もありました。今後もサウンディングの結果を踏まえ、活用方針の策定や実施事業者の公募に向けた準備を進めてまいります。